

கல்கத்தா ரிஜிஸ்டர்.நெ 748

5月3日とようび~4日にちようび



Science Fiction Seminar 2008

<http://www.sfseminar.org/>

○本会（昼の部） ※都合により、企画の順番は前後することがあります。

1

Speculative Japan 始動！

パネリスト（予定）：荒巻義雄 山野浩一 川又千秋 増田まもる 巽孝之

1960年代、バラードらのニューウェーブ運動やそれに対応する山野浩一と荒巻義雄の活動から40年余。昨年2007年、ワールドコン席上ではジュディス・メリル発案、グラニア・デイヴィス、ジーン・ヴァン・トロイヤー共編の日本 SF 傑作選 *Speculative Japan* をめぐるパネルが組まれたのをきっかけに、いま世を問わぬ有志が集まり、21世紀のSFを占う新たな理論空間が構築されようとしている。

Speculative Japan とは何か？ その新たなスタンダードへの道はどれか？

電脳空間以後の内宇宙飛行士は、いまどこを飛ぶか？（文・巽孝之）

Supeculative Japan 公式サイト <http://speculativejapan.net/>

2

藤崎慎吾インタビュー

海洋SF—SF—SFから見る、海というフロンティア

出演：藤崎慎吾 聞き手：島田喜美子

地球の7割を占める海もまた、ひとつのフロンティアだ。深海は未知なる生物、微生物の可能性を秘め、その懐にいだくさまざまな資源の量は限りない。そして、太古から続く地殻の変動、隆起と沈没といった見えざるドラマ……海の底にあるあまたの未知は我々の想像を掻き立てる。

この企画では、海、深海、惑星地球の奥深くでは何が起きているのか、何が起ころうのかを、名作『ハイドゥナン』と『日本列島は沈没するか』を手がかりに、作者自身に伺てみたい。（文・島田喜美子）

3

現在、企画交渉中

4

磯光雄インタビュー 電脳コイルの世界

出演：磯光雄 聞き手：向井淳

昨年放送されたテレビアニメ『電脳コイル』。「電脳メガネ」と呼ばれるウェアラブルコンピュータが一般化した近未来を舞台に子ども達の冒険を描いたこの作品の、魅力的な世界設定と謎を秘めたストーリーに魅了され、目が離せなかった方も多いでしょう。また、SFファンにとっては見慣れたサイバーパンクという題材を新しい切り口で取り上げたことに驚いた方もいるのではないだろうか。SFファンの間でも話題の『電脳コイル』。今回の企画では原作・監督・脚本を務めた磯光雄さんをお招きして、SFファンならではの視点から電脳コイルの世界に迫ります。（文・新井勝彦）

○合宿企画（夜の部）

※企画はあくまでも案であり、予告なく変更、あるいは中止する可能性があります

ふたき旅館では以下のような合宿企画を計画中です。お昼の企画のつづきや、ファン同士で語りあう企画などが行われる予定です。詳細は未定ですが、SFセミナーホームページ等で順次公開していきますのでお楽しみに！

【現在進行中の企画】

- * 海洋SFを語ろう
- * Speculative Japan を語ろう
- * 電脳コイルを語ろう
- * ジェンダーSF研究会の部屋

* クラーク追悼（仮）

* SFコミックの部屋（仮）

* ライブ版SFスキャナー

* 世界征服をたくらむ悪のココが好き！

* 向井淳の部屋（仮）

荒巻 義雄（あらまさき よしお）
1933年小樽市生まれ。早稲田大学で心理学を学んだ後、北海道大学で土木建築学を修める。現在、札幌で作家活動も続ける傍ら、札幌時計台ギャラリーのオーナーとして活躍中。主な著書に『神聖代』『時の葦舟』『ある晴れた日のウィーンは森の中にたたくず』『ファウスト時代』『字要集1991』『柔かい時計』『ニセコ要集1986』『十和田要集1991』『阿蘇要集1995』『琵琶湖要集1997』『紺碧の艦隊』『旭日の艦隊』『新旭日の艦隊』『帝国の光』など多数の他、評論『痴の小説論——私のハイランライン論』『インミュレーション小説の発見』がある。

山野 浩一（やまの こういち）
1939年大阪市生まれ。関西学院大学を中退後、寺山修司の勧めで処女作『X電車で行こう』を執筆。三島由紀夫から高い評価を受け、筆名として作家デビューした。その後は、『SFマガジン』、『読書人』等で小説、評論を執筆する傍ら、『季刊NW-SF』を自ら創刊し、ニューウェーブ運動の旗手として活躍、サンリオSF文庫の編集顧問として作品と読者の選択に携わり、海外SF小説の紹介に寄与した。競馬評論家、慶應大学非常勤講師としても活躍中。主な著書に『花と機械とゲスタタル』『鳥はいまどこを飛ぶか』『寮人者の空』『名馬の血統』『サラブレッド血統辞典』『サラブレッドの誕生』など多数の他、評論『日本SFの原点と指向』がある。

川又 千秋（かわまた ちあき）
1948年北海道小樽市生まれ。慶應大学卒業後、博報堂制作部勤務を経て、80年より著述事業となる。当初、ニューウェーブの影響のもとにSFの評論および創作活動をおこなない、『火星入史』、『幻詩狩り』で日本SF大賞を受賞。その後、架空戦記分野の作品を中心として活動するようになる。主な著書に『反在士の鏡』『反在士の指輪』『火星甲殻団』『ラバウル烈風空戦録』『シリーズなど多数の他、評論『夢の言葉・言葉の夢』、『ノンフィクション』、『二戦艦物語』などがある。

増田 まもる（ますだ まもる）
1949年宮城県生まれ。早稲田大学在学中に山野浩一氏主催のNW-SFに参加し、氏の勧めでラングドン・ジョーンスの『レンズの眼』を翻訳する。サンリオSF文庫創刊とともに本格的に翻訳家となる。主訳書に『ディケンズ』334、『ハラード』『夢幻会社』『菜園への疾走』、『ワトスン & ビンソン』『デクストロ口接触』、『マーティン』『イーワード』『マコマック』『隠し部屋を査察して』『パラダイス・モーター』、『テッド』『女の部の門』、『コールド』『テッド、ガールズ』『テッド、ポーズ』などがある。

巽 孝之（たつみ たかゆき）
1955年東京生まれ。コーネル大学大学院修士（Ph.D.1987）。SF批評家。日本SF作家クラブ会員。北米学術誌SF Studies 編集委員。著書に『サイバーパンク・アメリカ』（1988年度日米友好基金アメリカ研究図書賞受賞）、『現代SFのレトリック』（1992年）、『2001年宇宙の旅』講義（2001年）、Full Metal Apache (Duke UP, 2006) など。編訳書にハラード他『この不思議な地球で』（1996年）、編著に『日本SF論争史』（2000年、第21回日本SF大賞受賞）、Robot Ghosts, Wired Dreams (U of Minnesota P, 2007) ほか。雑誌等にSF、ミステリの書評を執筆。

磯崎 慎吾（いそ じんご）
1962年、東京都生まれ。埼玉県在住。米メリーランド大海洋・河口部環境科学専攻修士課程修了。科学雑誌の編集者や記者、映像ソフトのプロデューサーなどを務める。わら小説を書き、1999年に『クリスタルサイレンス』（朝日ノンラマ）でデビュー。現在はフリーランスの立場で小説のほか科学関係の記事やノンフィクションなどを執筆している。日本SF作家クラブおよび宇宙作家クラブ会員。

磯 光雄（いそ みつお）
愛知県生まれ。機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争』おもいでほろぼろ』などの原画などでアニメーターとして注目される。その後、テレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』では、脚本や設定も担当。『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』では原画に加え銃器デザインを担当。当し、テレビアニメ『ラーゼフォン』第15楽章では脚本、演出、絵コンテを担当するなど活動の幅を広げ、『電脳コイル』は初の原作、監督作品となる。

合宿企画も
鋭意進行中！

○SF セミナー 2008 参加要項

■開催 2008年5月3日(土)~4日(日)

■本会(400名)

3日10:00開場、開演 10:30~16:30(予定)
全電通労働会館ホール(千代田区神田駿河台3-6)

■合宿*1、*2(120名)

本会終了後~翌4日9:00(予定)
ふたき旅館(文京区本郷6-6-3)

*1 素泊

*2 合宿のみの参加受付はありません。

■参加費

【事前参加申込】 本会のみ: 3,000円
本会+合宿: 10,000円

【当日申込*1】 本会のみ: 4,000円
本会+合宿: 11,000円

【学生割引*2】 本会のみ: 1,000円
本会+合宿: 8,000円

*1 当日、会場受付で所定の用紙に必要事項を記入し、上記料金をお支払いください。

*2 学生には、中・高・大・院・専門学校生が含まれます。

・申込方法・時期に関わらず一料金

・お申込は事前参加申込と当日申込の各申込方法に準じます。

・郵便振替による申込の場合、通信欄に「学生」と追記してください。

・当日、会場受付で必ず学生証を提示ください。

・ぴあでチケットを購入された場合は、学生証を提示していただければ差額を返金いたします。

・高校生以下で合宿にも参加の場合、保護者の承諾が必要です。詳しくは事務局までご相談ください。

■参加申込について*1

事前に受け付けますが、当日申込みも可能です。本会・合宿とも定員に達し次第、受付終了します。ご了承ください。

○参加申込方法と参加費

申込方法は各種あります。参加費は消費税込、事前割引・学生割引もあり。

振込手数料はご負担ください。

*1 合宿は定員が少ないため、申込はお早めに。

本会のみ参加の場合、ほぼ当日申込が可能です。

1. 郵便振替で申込(~/4/16(月)まで受付)

・郵便局の振替用紙で上記料金を下記の口座へ、期限内(~/4/16)にお振込みください。

・通信欄に下記をご記入ください。

記入事項: 住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス(可能な限りで)

・振込先: 口座番号: 00180-3-610501
加入者名: SF セミナー

2. チケットぴあで申込(~/4/30)

・チケットぴあにて券を販売しています。ぴあに対応しているコンビニ、窓口等、または電子チケットぴあにて購入してください。

・当日はかならず券をお持ちください。

・Pコード: 612-351、またはイベント名「SF セミナー」にて検索が可能です。

・電子チケットぴあ: <http://t.pia.co.jp/>

■下記の場合はお気軽に事務局へお申し出ください。

・小学生以下の小児連れで「本会+合宿」参加の方。

小児参加費・部屋割等を考慮いたします。

・ハンディキャップ等をお持ちで介助を必要とされる方。

介助者の参加費や合宿の部屋割等を考慮致します。

注: 合宿会場内にはエレベーター・スロップ等がございません。ご注意ください。

○ACCESS

全電通労働会館ホール

〒101-8320

東京都千代田区神田駿河台3-6

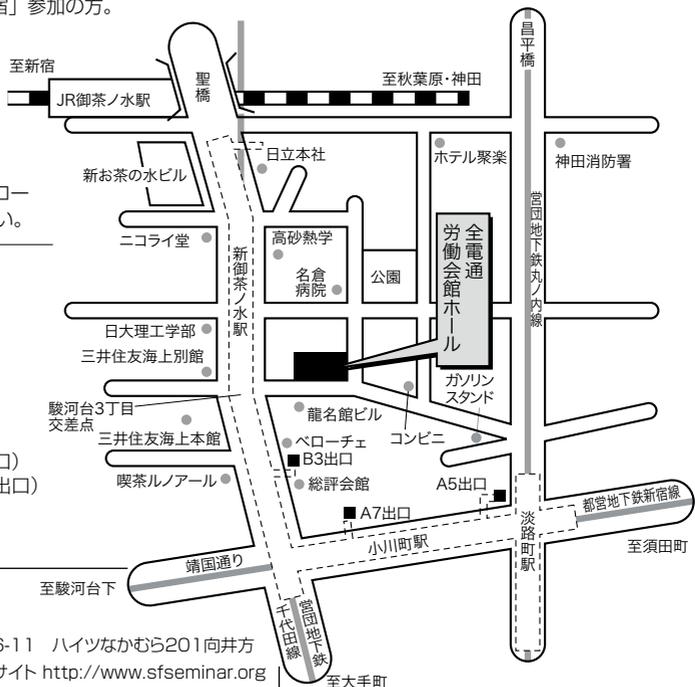
最寄り駅 いずれも徒歩5分以内

・営団地下鉄・千代田線 新御茶ノ水駅
(総評会館前B3出口)

・営団地下鉄・丸の内線 淡路町駅(A5出口)

・都営地下鉄・都営新宿線 小川町駅(A7出口)

・JR・御茶ノ水駅(聖橋口出口)



■お問い合わせ先

SFセミナー事務局(担当:向井)

〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-16-11 ハイソなむら201向井方

E-mail sfs-info@sfseminar.org 公式サイト <http://www.sfseminar.org>